

除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ 68416 系統
(飼料) に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えダイズ「除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ 68416 系統（以下「ダイズ 68416」という。）」については、平成 25 年 5 月 8 日付けで遺伝子組換え飼料の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

ダイズ 68416 には改変 *aad-12* 遺伝子と改変 *pat* 遺伝子が導入されている。

改変 *aad-12* 遺伝子の供与体は、グラム陰性桿菌である *Delftia acidovorans* MC1 株であり、改変 *aad-12* 遺伝子によって産生される改変 AAD-12 タンパク質が、アリルオキシアルカノエート系除草剤を除草活性のない化合物に変換することにより、植物にアリルオキシアルカノエート系除草剤に対する耐性を付与する。

また、改変 *pat* 遺伝子の供与体は、グラム陽性放線菌である *Streptomyces viridochromogenes* であり、改変 *pat* 遺伝子によって産生される PAT タンパク質が、除草剤グルホシネートを除草活性のない化合物に変換することにより、植物に除草剤グルホシネートに対する耐性を付与する。なお、改変 *pat* 遺伝子は、ダイズ 68416 を作成する際の選抜マーカーとして利用されている。

3. 利用目的および利用方法

ダイズ 68416 の飼料としての利用目的や利用方法は、従来のダイズと相違がない。

4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
米国	2011 年 11 月確認	米国食品医薬品局 (FDA)
オーストラリア・ニュージーランド	2011 年 11 月確認	オーストラリア・ニュージーランド食品基準局 (FSANZ)
カナダ	2012 年 10 月確認	カナダ食品検査庁 (CFIA)